



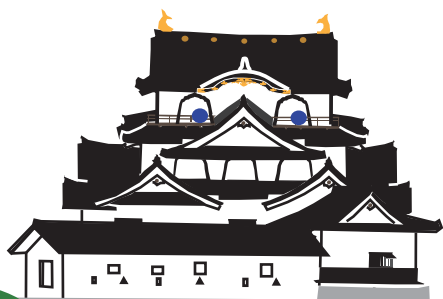
Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

世界遺産に

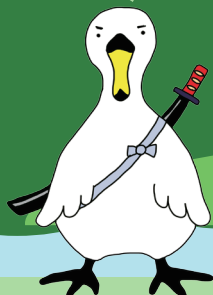
せ
かい
い
さん

みんなの彦根城を

ひ
ね
ぎょう



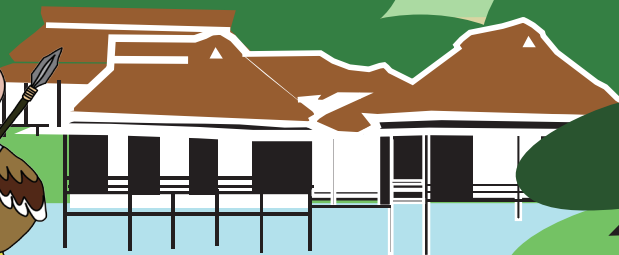
キンクロハジロくん







ハクチョウ隊長



カルガモさん



	彦根城について	…1
	彦根城ってすごいんだ！	…4
	彦根城に残る色々なもの	…6
	世界遺産についての質問コーナー	…12



未来にお城を残し隊

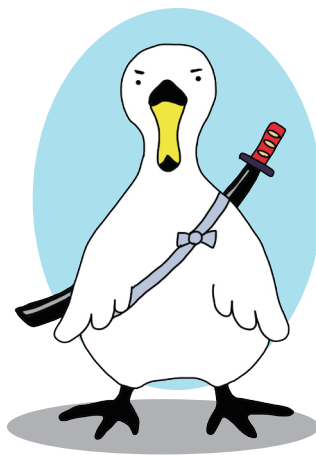


普段はのんびりとお城のお堀に浮かんで泳いでいる三羽の水鳥たち。三羽とも彦根城が大好きで、ひそかに「未来にお城を残し隊」として、お城のことをまもってくれているんだ。

彦根城のこともくわしいから、今回はこの三羽が彦根城のことや世界遺産のことを説明してくれるよ！



キンクロハジロくん



ハクチョウ隊長



カルガモさん



彦根城について

彦根城築城について

彦根城は標高約 136mの彦根山山頂の天守を中心にして作られました。1600 年の関ヶ原の合戦の次の年、彦根藩初代藩主の井伊直政には佐和山城が与えられます。その翌年に直政は亡くなってしまいますが、1604 年 7 月 1 日から直政の長男の直継なおつぐによって彦根山で彦根城の建設工事が開始されます。彦根城の建設工事は、江戸幕府が全面的に支援しておこなわれました。工事は彦根の近くの大名も協力して大急ぎで進められ、1606 年の年末から1607 年の年始頃には、天守が完成しました。天守は大津城からもってきたと伝わっていて、そのほかの建物や石垣の石も他のお城などからもってきて再利用したものと伝わっています。

工事は、山を大きく削ったり、石垣を築いたり、芹川の流れを変えたり、城下町をつくったりする必要があったのですごく大変なものだったので幕府しえんの支援が必要でした。

なお、最終的な堀は内堀、中堀、外堀の 3 重でしたが、最初は 1 重の堀でした。そして、城主は今の彦根城博物館がある表御殿ではなくて、山の上の天守の前につくられた御殿にいました。

このお城の工事は、大坂城にいた豊臣氏を攻めた大坂の陣しんという戦いで中断しますが、そのあとは直継の弟の直孝なおたかがあとをついで完成させ、彦根城は地域の政治の中心としての役割を果たしてゆきます。



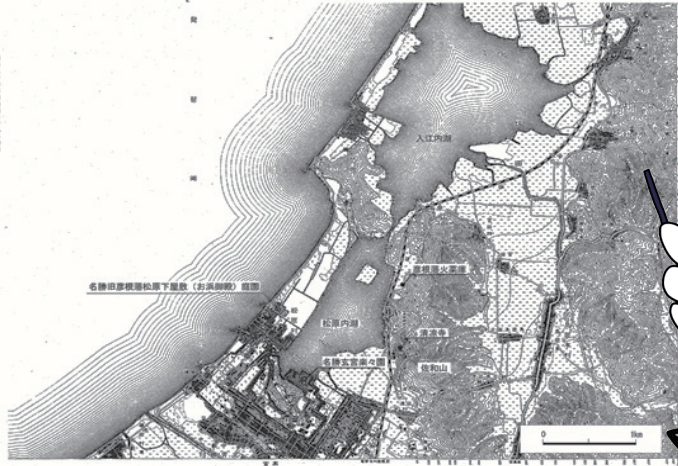
ひこねごじょうかそうえす
彦根御城下惣絵図 (江戸時代の終わりごろの絵図)

城下町を含めたお城の完成には
18 年間かかったんだよ。

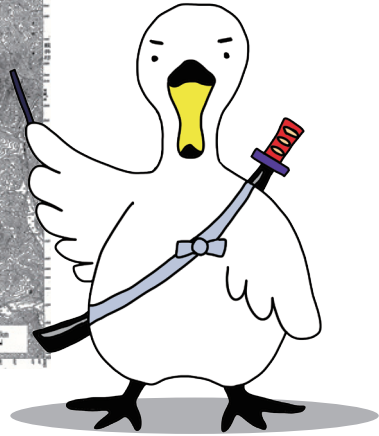


彦根藩の周辺環境

1944 年に干拓工事が始まるまで、彦根城の北には松原内湖という琵琶湖とはべつの湖が広がっていました。



今と全然違うね。昔は水にかこまれたお城だったんだ。



彦根藩の範囲と人口

近江国での彦根藩の領地は、現在の彦根市だけでなく長浜市から米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町、東近江市、近江八幡までのすごく広いものでした。近江国の彦根藩の領地に住んでいた人は、江戸時代前期で約 20 万人です。ちなみに城下町には約 3 万 7 千人の人が暮らしていて、そのうち武士が約 2 万人でした。

※彦根藩の領地は東京都の世田谷や栃木県の佐野市にもありました。



彦根藩の領地

※灰色が彦根藩

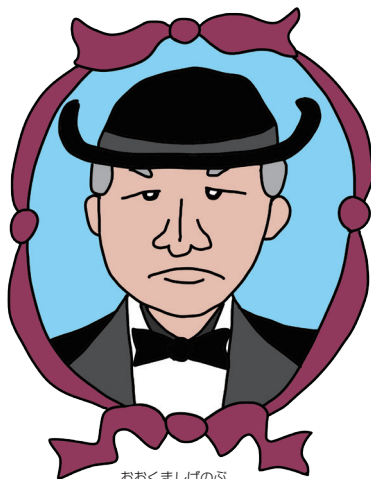


今は、市や町が分かれているけど昔は一つの彦根藩の領地だったんだね。

彦根城が現在に残ったわけ

明治時代に入ると、彦根城と城下町は目まぐるしく変化します。1871年7月には彦根藩が廃止され、9月には最後の彦根藩主だった井伊直憲が彦根を離れることとなります。この後、彦根城は役所となったり、軍隊の基地になったりしますが、1878年に軍隊の基地が他に移ったことで、使われなくなった天守などのお城の建物を壊すことが決定されます。この時が彦根城にとって最大のピンチでしたが、明治天皇と一緒に彦根を訪れていた大隈重信が、彦根城が解体されかかっているのを目撃し、残念に思って明治天皇に彦根城を保存するよう提案します。このことから、彦根城は保存されることになりました。

1944年には、彦根城跡の土地・建物が井伊家から彦根市に寄附され、1951年に、彦根城が史跡という文化財になりました。さらに1956年には特別史跡として指定されます。ちなみに特別史跡は滋賀県では安土城と彦根城しかありません。



おおくましげのぶ
大隈重信

明治維新から大正期にかけて、財政・外交にすぐれた手腕を発揮した佐賀県出身の政治家。彦根城の恩人だ。





彦根城ってすごいんだ！

江戸時代のことがよくわかるところがすごい！

ここがスゴイ！

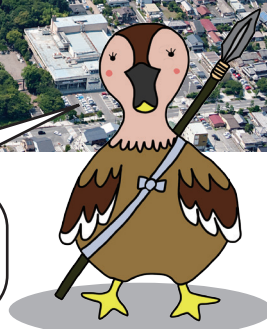
日本の江戸時代は、世界的に珍しく、200年以上の間、戦争のない平和な時代でした。戦国時代を終わらせたのは、武士でした。武士たちは自分たちの役割を、「戦うことを専門とする集団」から「政治を専門とする集団」に変えて、「城」を中心に自分の領地を治める新しい仕組み（将軍を中心とする幕府と大名を中心とする藩が一緒に国を治める仕組み）を築き上げました。

彦根城は、政治の中心で、天守をはじめ領地を治めるための政治をおこなったいろいろな施設が日本で一番多く残っていて、よい状態で保存されています。このことから、彦根城を見れば、それだけで江戸時代の政治の仕組みを知ることができるのです。



大きいなあ。

槍を背負いながら説明するのもおかしいけど…。地域の平和をまもるためには戦うことよりも人びとが幸せに暮らせるように政治をすることのほうが大切だったんだ。



江戸時代の色々なものが残っているのがすごい！

ここがスコア！

彦根城には国宝の天守をはじめとする櫓や馬屋、御殿などの建物だけでなく、石垣や庭園がよく残されていて、地下にも色々なものが残っていることが発掘調査でわかっているんだ。

江戸時代の政治や教育、文化のことがよくわかるものがこれだけたくさん残っているのは彦根城だけなんだよ。



彦根城の全体





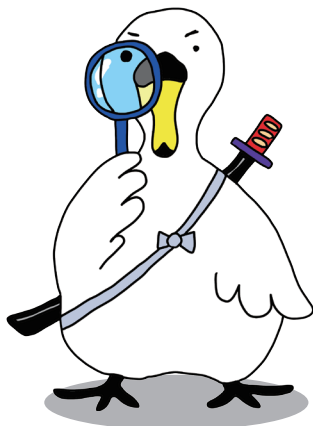
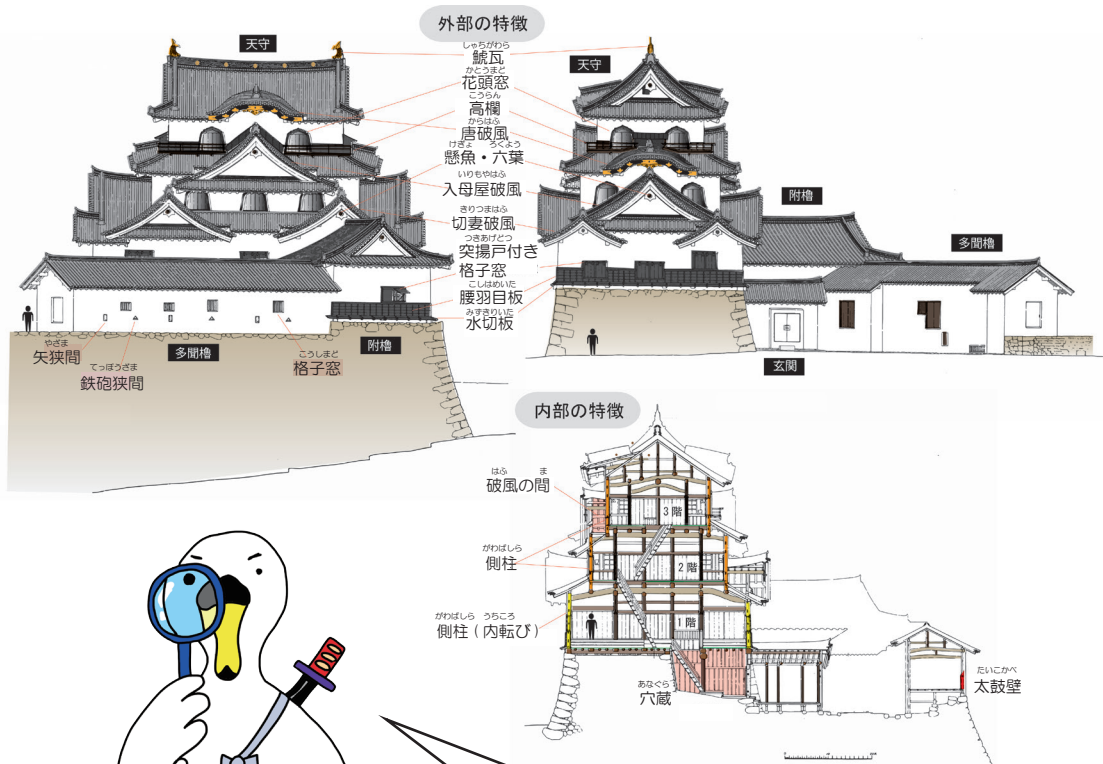
彦根城に残る色々なもの

天守

城の中心にそびえるシンボル。
大きな飾り屋根を複雑に組み合わ
せたデザインは、遠くからでも天
守がよく見えるための工夫です。



図解 国宝彦根城天守・附櫓及び多間櫓のしくみ



天守は3階建て。高さは石垣を合わせて約23mで現存している全国の天守の中では低いほうだけど破風と呼ばれる飾り屋根の数は18あって姫路城の17より多くて日本一なんだよ。

西の丸三重櫓

西からの攻撃に備えた3階建ての櫓、西の丸の西端に建てられています。敵が入ってこられないように手前には大きな空堀が掘られています。



太鼓門

本丸へ向かう最後の門です。江戸時代には、中に太鼓が置かれていて、色々なことを太鼓の音で知らせていたと考えられています。

天秤櫓

その形が天秤のような形をしていることから江戸時代から天秤櫓と呼ばれていました。大手門からと表門からの道を見下ろすため両側に2階建ての櫓が設けられています。



西の丸三重櫓と天秤櫓は、高い石垣の上に立っているね。城下町からもよく見えるよ。



佐和口多聞櫓

江戸に向かう時には、佐和山を越えて行くことから、「佐和山への出入り口」という意味で佐和口という名前がついています。



馬屋

江戸時代前期に建てられたもので、最大で21頭の馬を繋いでおくことができました。お城に馬屋が残っているのは全国でも彦根城だけです。

表御殿跡

城主が暮らす家でもあり、城主と家臣が政治の相談をして、色々なことを決める役所のような場所でもありました。今は博物館になっていますが、地下に遺構いこうとして残っています。



表御殿の大広間では、政治に参加する立場の武士が集まってみんなで考えて色々なことが決められました。



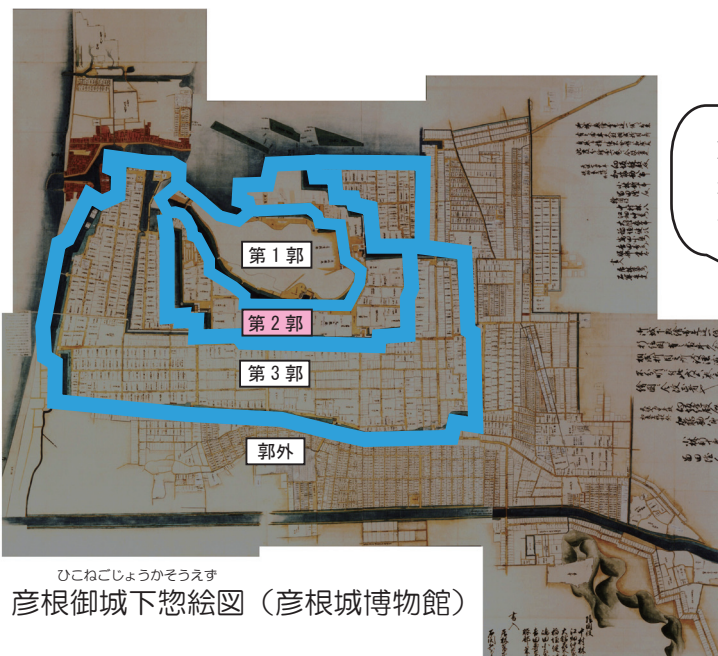


おもてごてんのうぶたい
表御殿能舞台

表御殿ではお祝いなどの行事が開催されました。そういった行事の1つとして、能や狂言きょうげんを城主と家臣みんなで一緒に見るということもありました。

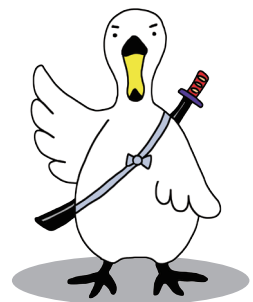
じゅうしんやしき
重臣屋敷

天守と表御殿がある内堀の内側を取りかこむ形で、家臣の中でも城主と一緒に政治を考える重臣の屋敷がありました。



ひこねごしょうかそうえす
 彦根御城下惣絵図（彦根城博物館）

重臣屋敷は第2郭と呼ばれる中堀と内堀の間に建てられました。





げんきゅうえん
玄宮園

池を中心にさまざまな自然の景色が再現されています。城主や重臣はこのきれいな景色の中でお茶を楽しんだり、文化的な活動をしたりしました。



けいきごてん
規御殿

城主が忙しい仕事から離れて、一休みするための御殿です。城主が家臣と会って話をするための建物や一緒にお茶を楽しむための茶室が建てられました。



うもれぎのや
埋木舎

城主のあとをつがない子どもが生活する屋敷です。井伊直弼もこの屋敷で青年時代を過ごして、お茶や勉強をしていました。



はんこうこうどうかんあと
藩校弘道館跡

家臣のための学校です。学問だけでなく、武術の訓練も行われていました。今は中学校のグラウンドになっていますが、発掘調査で地下に遺構として残っていることがわかりました。



武術



学問

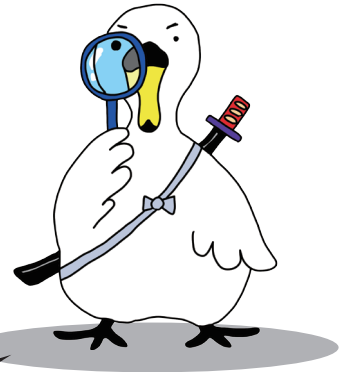




世界遺産についての質問コーナー



中堀から佐和口多聞櫓を見ると、その向こうに天秤櫓と天守がよく見えます。

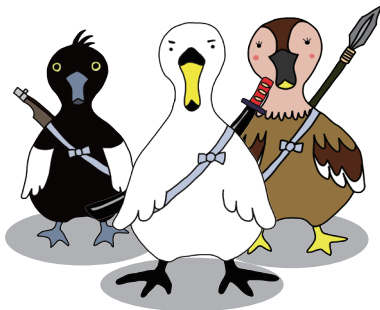


彦根城は、1992年に日本国内で最初に世界遺産の候補に選ばれました。世界遺産にするためにがんばらないと！

Q 世界遺産ってなに？

人類にとって、地球にとって、未来に残すべき貴重な遺産です。

世界遺産は、重要な文化財や自然を破壊からまもるための国際的な制度です。1972年に世界の国々が教育や科学のことについて会議をするユネスコ総会で決まりました。世界遺産は、人類全体にとって価値のある遺産を世界が協力して保護することを目的としています。



みんなの宝物だから、みんなでももることが大事なんだ。

Q 世界遺産にはどんな種類があるの？

文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類があります。

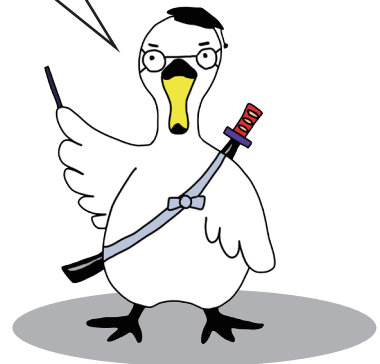
文化遺産は、人類の歴史が生み出した遺跡や建築など。自然遺産は、地球の生成や動植物の進化を示すもの。複合遺産は、文化遺産と自然遺産の両方の価値を持っているものです。彦根城は、文化遺産での登録を目指しています。世界遺産は全世界で1,100件以上あります。



モンサンミッシェルとその湾

文化遺産

ちなみに富士山は2013年に文化遺産で世界遺産に登録されてるよ。信仰の対象でもあり、絵画などの芸術作品の題材になったからなんだ。



グランド・キャニオン国立公園

自然遺産



マチュ・ピチュの歴史保護区

複合遺産

※まだ日本には複合遺産はありません。

Q 世界遺産になるために必要なことは？

ユネスコの専門の委員会で認めてもらう必要があります。

世界遺産をまもることを約束した世界の国々が、まず、自分の国で世界遺産の候補を選び、その中から世界遺産に登録したいと考える資産をユネスコに相談します。次に専門家が調査をおこない、その調査結果をもとに、ユネスコの専門の委員会で世界遺産に登録するかどうかを決めます。

彦根城を世界遺産に登録するためには、

- ①彦根城に世界的な価値があることを証明すること
 - ②彦根城の価値を守るための仕組みを整えること
 - ③地域の人々が彦根市を世界遺産にふさわしいまちにしたいと思うこと
- という3つのことが大事です。

彦根城を世界遺産にするために彦根市と滋賀県が一緒になって彦根城に世界遺産としての価値があることを証明する。そしてその価値を守るための計画を作り、地域の人々が彦根城を守っていくということを真剣に考える。

国が彦根城を世界遺産にしたいと決める。

国が世界遺産にするようにユネスコずいせんに推薦する。

ユネスコが彦根城を世界遺産にするかどうか決める。

Q 彦根城の世界遺産になる範囲は

彦根城の中堀から内側と埋木舎を含めた範囲です。

彦根城の中堀より内側には、江戸時代の政治に必要な天守、御殿、重臣屋敷、大名庭園、藩校跡がまとまって残っています。このエリアに中堀沿いの埋木舎を加えた特別史跡という文化財になっている範囲（外堀土塁を除く）を世界遺産の候補として考えています。



凡例

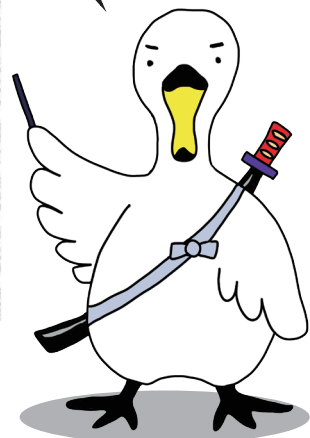
資産範囲

緩衝地帯 (バッファゾーン)

SCALE 1 : 25,000

0 100 200 500m

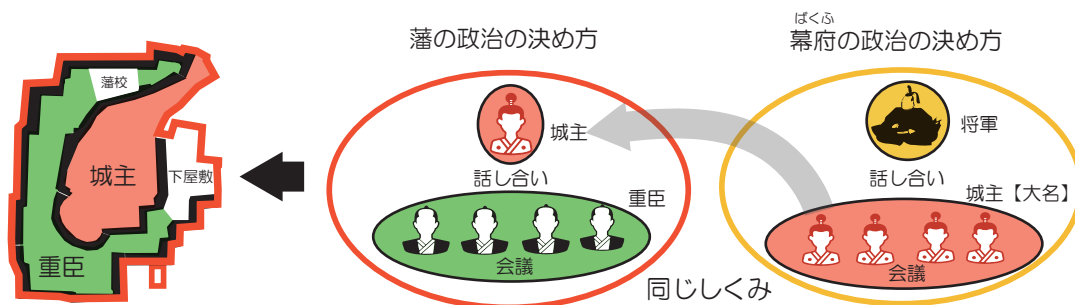
赤色の範囲が世界遺産の範囲だよ。この範囲は国の特別史跡という文化財になっているんだ。
青色の線の範囲がバッファゾーンという世界遺産をまもるための範囲だよ。



Q 彦根城の世界遺産としての価値は

世界的にみてユニークな江戸時代の政治のしくみを示す文化財が最もよく残っているところに価値があります。

彦根城は、天守をはじめ、城主の御殿、重臣屋敷、大名庭園、藩校跡など、江戸時代の政治のしくみを示す建築物や遺構が日本で一番まとまって保存されています。もともと戦うことが仕事だった武士が日本国内のそれぞれの領地をおさめて、日本全体の平和を守った政治のしくみは、世界的に、江戸時代の日本にしか見られないものです。

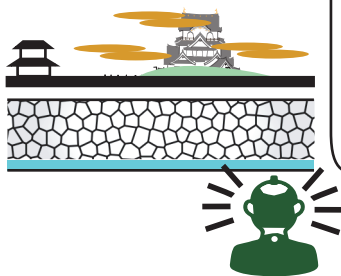
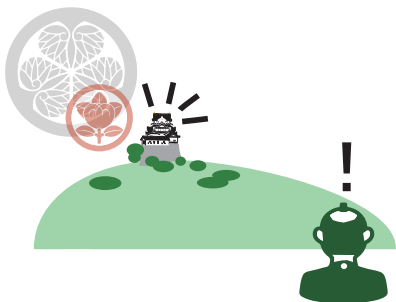


政治の仕組みがわかる形

藩の政治は中堀の内側に住む人びとによって決められていました。

江戸城と同じお城の形が將軍に認められたことを表現している。

石垣や櫓、堀によって内側が特別な空間ということ表現している。



先に世界遺産になっている姫路城は建物の美しさという価値。彦根城は当時の政治のしくみがわかる色々なものが一番まとまって残っているところに価値があるんだ。



政治のシンボル

遠くからでもよくわかる。近づくのはおそれ多い。

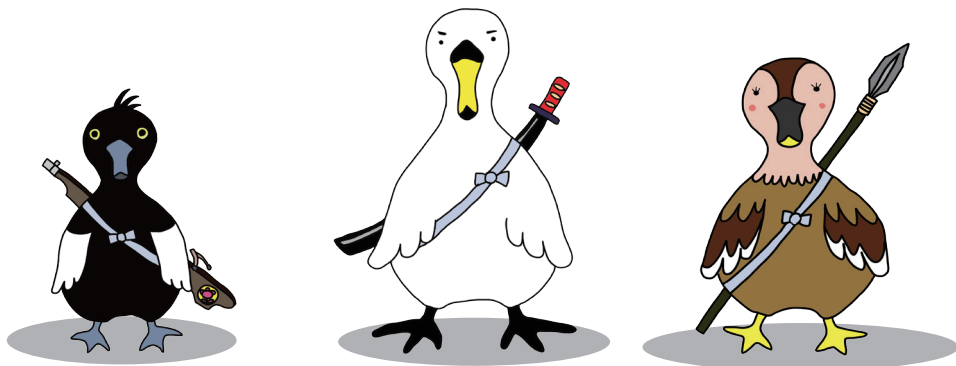
Q 世界遺産に登録されるためにみんな のでできることは？

彦根城の世界遺産登録実現に向けて、さまざまな応援をお願いいたします。

地域みんなが、彦根城を世界遺産にしたい！彦根城を大切に将来に残していきたい！という思いをもつことが大切です。また、彦根市を世界遺産にふさわしいまちにすることが大切です。どのように世界中の人たちと交流するかを考えることも大切で、たとえば観光客の方々に対してあいさつをする、外国からの観光客の方々に彦根城のことを話して知ってもらうなど、自分でできる気軽なことを、1つずつ実行することが大切です。それが彦根の「おもてなし」になり、彦根を世界遺産にふさわしいまちへと育ててゆくことにつながります。

また、そのために彦根城のことをたくさん勉強して、彦根城を世界遺産に登録する価値があることをアピールすることが大切です。

彦根城を世界遺産にすることはみんな
が暮らしている彦根市をよりよいまち
にするってことなんだ。



彦根城のお堀で僕たちを見かけたら、この本の内容を思い出してね。

年 表

- 1600年 関ヶ原の合戦
- 1601年 井伊直政が佐和山城に入城
- 1602年 井伊直政が亡くなる。長男、直継が城主となる。
- 1604年 彦根城の築城が始まる。
- 1606年
↳ 天守が完成
- 1607年
- 1614年 大坂の陣（冬の陣）、次男の直孝が城主となる。
築城工事が中断する。
- 1615年 大阪の陣（夏の陣）
- 1622年 城下町を含めた彦根城が完成する。
- 1871年 江戸時代が終わって、彦根藩がなくなる。
- 1672年 彦根城が陸軍の基地になる。
- 1878年 城内の建物の解体が決定するものの、大隈重信が明治天皇に中止を提案し、保存することが決まる。
- 1944年 彦根城が彦根市に寄附される。
- 1951年 彦根城が史跡、天守が重要文化財になる。
- 1952年 天守が国宝になる。
- 1956年 彦根城が特別史跡になる。

編集・発行：彦根市歴史まちづくり部文化財課

彦根城世界遺産登録推進室

〒522 - 8501 滋賀県彦根市元町 4 番 2 号

電話 0749 - 26 - 5833

FAX 0749 - 26 - 5899

e-mail hikone-wh@ma.city.hikone.shiga.jp